



はじめまして「みらい」の新メンバーをよろしくお願いいたします

早矢仕の自己紹介

はじめまして。今年度より「みらい」に配属となりました早矢仕千里と申します。

総合病院での臨床経験、精神科病院での医療安全管理者としての経験、看護師養成所での教員としての経験や仲間とのつながりを大事にしながら、「みらい」での役割を担っていきたいと思います。

まずは地域で暮らしていられる重症心身障がい児者の皆様とそのご家族様にお目にかかり、日頃から感じていらっしゃる不自由さや課題を知り、少しでも安心して過ごしていただける環境づくりができるよう関係機関の皆様のお力を借りながら努めてまいります。

「みらい」の存在を知っていただき活用していただけるよう精一杯取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



若原の自己紹介

はじめまして。3月から「みらい」に配属となりました若原理恵と申します。総合病院、教育機関、特別支援学校での勤務を経験してきました。そうした経験の中では、医療的ケアを必要とする子どもやそのご家族がどんなことに困っているのか話を聞くことを大事にしました。

「みらい」の活動を通して、障がいを持つお子様やそのご家族と社会をつなぎ、安心して皆様から相談していただける場所づくりを考え、楽しく生活が送れるようにご支援ができればと思います。まだまだ不慣れな点もありますが、よろしくお願いいたします。



みらいこんな活動をしています

①安心して在宅での生活が送れるよう支援しています

- ◆日常生活でのお困りごとやわからないことについてお話を伺います
- ◆医療・福祉・教育施設からスタッフ教育のご依頼や、利用者と多職種等の関係調整や依頼を行います

②ネットワークづくりを支援しています

- ◆医療的ケア児者、重症心身障がい児者家族交流会を開催します
ご本人・ご家族・支援者が一堂に会し、情報交換や講習会、楽しいイベント等を企画しています。役立つ情報を共有し、心身のリフレッシュをしていただきながら仲間づくりを支援します

③人材育成の支援をしています

- ◆医療的ケア児者、重症心身障がい児者の在宅看護に携わる看護職や関連職種のための人材育成研修を実施しています
 - 教育機関等における医療的ケア児看護人材育成研修
 - 小児在宅支援者研修会 など

家族交流会を開催しました

中濃圏域

令和7年1月19日(日)「令和6年度中濃圏域家族交流会」を美濃加茂市生涯学習センターにて開催いたしました。

連日寒い日が続いていましたが、久しぶりに気温が上がって暖かい日となりました。オマールえびさんによる「大道芸と絵本の読み聞かせライブ」を楽しみました。和傘のパフォーマンスでは、傘の上でくるくる回る五合升に目を輝かせ、絵本の読み聞かせでは、「なぜオオカミは遠吠えするようになったのか」というお話を聞き、笑ったり感心したりの楽しい時間でした。

昨年末からインフルエンザが大流行していたため心配もありましたが、皆さんの笑顔や楽しんでくださっている様子を拝見できほっとしました。今回も多くの皆さまにご協力いただき、事故なく無事に会を終えることができました。



西濃圏域

令和7年3月16日(日)「西濃圏域家族交流会」を大垣市・中川ふれあいセンターにて開催いたしました。

あいにくの雨で肌寒い一日となりましたが、オマールえびさんによる「大道芸と絵本の読み聞かせライブ」が始まるとステージにかぶりついてダイススタッキングを鑑賞したり、手をパンパンと鳴らして絵本ライブに参加したり、けん玉パフォーマンスでは自然に手拍子が起こりました。すっかりオマールえびさんのファンになってしまった女の子は大きな声で応援してくれて、大変盛り上がりました。また、畳の大広間を所狭しと力いっぱい動き回る子どもたちもいて、にぎやかな会となりました。



飛騨圏域

令和 7 年 5 月 31 日(土)「飛騨圏域家族交流会」を高山市福祉総合センターにて開催いたしました。

今年度初の家族交流会には「風船太郎さん」をお招きし、色とりどりの風船を使った楽しいパフォーマンスで会場は笑顔に包まれました。風船が送風機で大きく膨らむと、その中にすっぽり入ってしまう風船太郎さん。見ている子どもも大人もびっくりでした。

バルーンアート体験では時々聞こえる風船の破裂音にドキドキしましたが、風船太郎さんのやさしい笑顔と楽しいお話で笑い声が絶えず、あっという間の 1 時間でした。

フリートークでは、「みらい」に対するご意見もいただきました。今後の活動にしっかりと活かしてまいりたいと思います。ご参加いただいた皆さま、お手伝いいただいた支援者の皆さまありがとうございました。



研修会報告

小児在宅支援者研修会報告

令和 7 年 3 月 2 日(日)小児在宅支援者研修会をハイブリッド形式で開催いたしました。

テーマは「障がいをもつ子どもと家族の世界を広げるために私たちができること」

今回は、医療法人かがやき・医療型短期入所 かがやきキャンプ施設長であり、理学療法士の数本保先生を講師にお迎えし、ご講義いただきました。

当日は小児在宅支援に関わる医療、福祉、行政、教育などの多職種の皆さまが会場に 25 名、オンラインで 36 名、総勢 61 名参加されました。研修会では、施設の理念や子どもとの関わり方、成長・発達への取り組みなどを伺い、特に施設内で多職種が連携して子どもを多面的に捉え支援されていることは大変参考になりました。「下側肺障害」への対応では誰

でもできる体位ドレナージの方法やその効果的な実施条件、呼吸介助の支援など、すぐに実践できる知識が多くありました。重症児の骨折に関するお話は、日々の援助や介助をする上での良い注意喚起となりました。今回の研修を通して、他職種や他施設での取り組みに関心を持った方や、ヒントを得られた方が大勢いらっしゃると思います。そうした気づきが新たな連携や取り組みに発展することを願っています。



熱中症対策

今年は 6 月から猛暑が続き、連日熱中症による搬送患者数が報じられています。
大切なお子さまの命を守るため熱中症への備えをしっかりといていきましょう。

障害のある方の

熱中症予防ポイント

熱中症は、高温多湿な環境で体温調節がうまくいかなることで起こります。

障害のある方は特に注意が必要です。気を付けたいポイントをまとめました。暑い季節を安全に過ごすためにご活用ください。



厚生労働省ホームページ
「熱中症関連情報」
をご覧ください。



熱中症の症状

重症になると死に至ることもあります

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、
筋肉のこむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、
いつもと様子が違う など
- ▶ 重症になると
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん など

熱中症を防ぐためにできること

- ✓ 帽子や日傘で直射日光を避ける
- ✓ のどが渇く前にこまめに水分補給をする
- ✓ 保冷剤や冷たいタオルで体を冷やす
- ✓ 日陰を利用し、こまめに休憩をとる

熱中症予防 Q&A



Q. 外出の前日と当日の朝にできることは？

A. 十分な睡眠をとり、当日の朝は朝食・水分をしっかりととり、体温など体調をチェックする。

Q. 外出前に調べておきたいことは？

A. 日陰・ミストゾーン・障害者用トイレ・エレベーターの位置。必要に応じて医務室の場所。

Q. 服装の注意点は？

A. 吸湿性・速乾性のある素材の服を着用し、汗で濡れた服は着替えるようにする。

介助者の方・まわりの方へ

熱中症にならないために・・・

障害の中には、汗をかけない・体温調節ができないなどもあります。また、のどが渇いていても気づかない、自分で水分がとれない・汗をふけないため体温が下がりにくい場合もあります。

介助者の方やまわりの方は体調の変化に気をつけ、早めの水分補給などの声かけをしましょう。

熱中症が疑われたら・・・

涼しい場所へ

涼しい場所に移動させる（室内や日陰など）

からだを冷やす

衣服をゆるめ、首筋・わき・足の付け根などを冷やす

水分補給

経口補水液などを少量ずつ飲ませる

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう





機関紙第 19 号で令和 6 年能登半島地震について特集をしました。近年、地震や豪雨による災害が至る所で発生しており、要配慮者の適切な避難(予測可能な場合は早めの避難)が求められています。そこで今回は福祉避難所についてお伝えしたいと思います。

避難所には、「指定一般避難所」と「指定福祉避難所」があります。

福祉避難所は、高齢者や障がいのある方、医療的ケアを必要とする方など特に配慮が必要な方のために設置される避難所です。

福祉避難所へ入所するまでの一般的な流れを以下にまとめました。

※避難手順等は市町村によって異なる可能性がありますので、詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。



※福祉避難所は必要に応じて開設される上、避難スペース、スタッフなどが整うまでは開設されません。

県内では、指定一般避難所では生活に支障をきたす要配慮者のため、支援体制が整備されている社会福祉施設等が指定福祉避難所として指定されています(市町村において指定)。

福祉避難所は、災害発生時に、指定一般避難所における要配慮者の方々の状況等を考慮して開設を判断します。そのため、原則、自宅から直接避難することは控えていただきますようお願いします。

皆さんは、災害に備えて「避難行動要支援者名簿」への登録や「個別避難計画」の作成はお済みでしょうか。市町村は「避難行動要支援者名簿」により支援の必要な方の情報を把握し、適切な支援について検討します。

また、「個別避難計画」は一人ひとりの状況に応じた避難行動をまとめた計画書です。これを作成しておくことで、事前に避難場所を確認することができ、災害時には支援関係者と一緒に避難できる可能性が高くなります。

まだ登録や計画の作成を行っていない方は、お住まいの市町村の担当窓口へお問い合わせください。まずはお電話にて、どこで手続きができるかをご確認いただくことをおすすめします。

岐阜県ホームページ検索により災害・防災に関する情報が取得できます

(X 用)



岐阜県公式
LINE アカウント



岐阜県ぎふ川と道のアラームメール



岐阜県総合防災
ポータル(総合情報)



岐阜県川の防災情報
(水位情報)



ぎふ土砂災害警戒情報
ポータル(土砂災害情報)等

今後の予定

1) 研修会

(1) 教育機関等における看護人材育成研修について(今年度の受付は終了しました。)

保育所・幼稚園、小中学校等に勤務又は就職を考えている看護職を対象に、令和7年7月16日～令和7年11月11日の4日間(オンラインによる講義2日、集合演習2日)の研修を実施します。

(2) 小児在宅支援者研修会について

令和8年2月に開催予定です。詳細が決まり次第ホームページに掲載します。
ご参加お待ちしております。

2) 家族交流会

東濃地域： **日程** 令和7年9月6日(土)
会場 中津川市ひと・まちテラス
住所 中津川市新町2-34

中濃地域： **日程** 令和7年10月25日(土)
会場 関市わかさプラザ・総合福祉会館
住所 関市若草町2丁目1番

西濃地域： **日程** 令和7年11月30日(日)
会場 大垣市中川ふれあいセンター
住所 大垣市中川町4丁目668番地の1

※情報交換や講習会、楽しいイベント等を企画します。日常生活の役に立つ情報を共有し、心身のリフレッシュをしていただきながら仲間づくりを支援します。

詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたしますので多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

お知らせ

みらいではこれまで設置していました飛騨・中濃・東濃サテライトでの対応を閉じ、令和7年4月からはすべて本所で対応させていただくことになりました。各サテライトには窓口にポスターを掲示し、その旨案内をさせていただいています。今後も引き続きお電話やメールでご相談いただきますようご案内申し上げます。これまで行っておりましたカンファレンスへの参加や家庭訪問等も本所の職員が対応させていただきますのでお気軽にご連絡ください。

相談や指導は無料です

みらいは身近な相談窓口です。今後もお気軽にご相談ください。

【相談・お問い合わせ】

医療的ケア児/重症心身障がい在宅支援センターみらい ☎058-275-3234
E-mail: mirai@gifu-kango.or.jp <https://www.zaitaku-mirai.jp/>



インターネットでの対面相談も受け付けています。ご相談の際は事前にご連絡ください。

Zoomを使用してリモートによる相談も行っており、実際に利用していただいた方から好評価をいただいています。相談だけでなくおしゃべりしたい方も大歓迎です。事前に電話、メールでご連絡ください。日程を調整し参加方法について説明いたします。

★家族交流会の予定は、ホームページにて順次掲載します★

募集

家族交流会の企画を一緒に考えてくださる方を募集しています!

遊びを取り入れる? 歌をうたう? 勉強会をしてみたいわ。おしゃべり会がいいな~など、イベント内容やアイデアを出し合って一緒に企画しませんか。希望される圏域のみで構いません。ご協力いただける方、お問い合わせの連絡をお待ちしております。



編集後記

皆様のご協力で、第21号を発行することができました。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。